

利息法による償却原価法の会計処理 演習問題

X社は2000年4月1日に次のような条件で発行されたA社の社債を589,867.4486万円（券面額600,000万円）で購入した。X社はA社社債を満期保有目的の債券に分類した。なお、ここでの券面額と発行価額との差額はすべて金利調整の性格をもつものであった。

1. 約定利率：3% 利払いは年1回で3月末日とする。
2. 償還日：2010年3月31日
3. X社は利息法による償却原価法を採用することにした。その際の実効利率は3.2%であった。（参考）

$$\frac{18,000}{1+0.032} + \frac{18,000}{(1+0.032)^2} + \dots + \frac{18,000+600,000}{(1+0.032)^{10}} = 589,867.4486$$

〔問1〕利息法による利息の配分計算を表す下記の計算表を完成せよ。

〔問2〕2007年3月末決算時の利息法に基づく償却原価法に係る仕訳を示せ。

利息法による利息の配分計算表

（単位：万円）

決算日	約定利息	金利調整差額の配分額（償却）	利息合計	償却原価（社債の期末簿価）
2001.3.31				
2002.3.31				
2003.3.31				
2004.3.31				
2005.3.31				
2006.3.31				
2007.3.31				
2008.3.31				
2009.3.31				
2010.3.31				

2001年3月末日の決算における仕訳（単位：万円）